

令和1年度氷見市中学生冬季大会
兼 第15回春の全国中学生ハンドボール選手権大会開催地代表決定戦
実施要項

- 1 主催 氷見市ハンドボール協会
- 2 共催 氷見市中学校体育連盟
- 3 後援 氷見市教育委員会 (公財)氷見市体育協会
- 4 期日 令和2年1月11日(土)、13日(月・祝)
- 5 会場 氷見市ふれあいスポーツセンター メインアリーナ
氷見市鞍川 43番地1 TEL 0766-74-8500
- 6 競技規則 (1) 2019年度(公財)日本ハンドボール協会競技規則による。
(2) 大会使用球は、(公財)日本ハンドボール協会検定球とする。
- 7 競技方法 冬季大会は、第15回春の全国中学生ハンドボール選手権大会の富山県代表チームと開催地代表チームで決勝戦を実施する。
開催地代表決定戦は、富山県代表が氷見市以外の場合には、全チーム参加で実施する。開催地代表決定戦の申込みチーム数が2チームの場合はトーナメント方式を、それ以外の場合はリーグ戦方式とする。
 - (1) トーナメント戦
 - (ア) 競技時間 25分—10分—25分
正規の競技時間で勝敗が決しない場合は、第1延長戦(5分—1分—5分)、それでも決しない場合は7mTCで勝敗を決める。
 - (2) リーグ戦方式
 - (ア) 競技時間 25分—10分—25分
 - (イ) 順位の決定方法
 - ① ポイント制を用い、ポイントの多いチームが上位となる。
(勝利チーム2点、引き分け各チーム1点、敗者チーム0点)
 - ② 2チーム以上のチームが同ポイントの場合
 - ・ 2チーム、2チーム以上のチーム同士のポイント数
 - ・ 2チーム、2チーム以上のチーム同士の総得点数差
 - ・ 2チーム、2チーム以上のチーム同士の総得点数
 - ③ 全試合の得失点差
 - ④ 全試合の総得点数
 - ⑤ 競技委員長が両チーム代表の立ち会いのもとに抽選を行う。
- 8 参加資格 (1) 令和1年度に県協会を通じて、申込締切日までに(公財)日本ハンドボール協会に登録した中学校、クラブ(総合型地域スポーツクラブ等)及び「全国中学校体育大会合同チーム参加規程」による合同チームとする。
※「全国中学校体育大会合同チーム参加規程」(抜粋)
趣旨：少人数のチームにつき単独でチーム編成ができないための救済措置であり、勝利至上主義のためのチーム編成であってはならない。
条件：合同チームとして、それぞれの学校教育計画に基づいて活動している。
 - ・ 「規程」による2校以上からなる合同チーム

- ・「規程」の趣旨による中学校チームとクラブチームからなる合同チーム
- ・「規程」の趣旨による複数のクラブチームからなる合同チーム

(2) 選手は、平成 17 年 4 月 2 日～平成 19 年 4 月 1 日に生まれた者であること。

(3) 選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の承認を得ること。

クラブチームの選手は在学する学校長に届け出ること。

(4) 選手は、傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。

9 チーム チーム構成は、役員 4 名・選手 15 名とする。

10 参加料 1 チーム 5,000 円（開会式前に事務局へ支払うこと）

11 参加申込 氷見市ハンドボール協会ホームページから申込書をダウンロードし、協会事務局に提出すること。

提出期限：令和 1 年 12 月 16 日（月）

申 込 先：氷見市ハンドボール協会 HP から提出。

<http://himi-handball.jp/contact>

※大会当日、参加申込書（捺印あり）を提出

12 組 合 せ 富山県選抜大会の結果を考慮して決定する。

13 表 彰 冬季大会の 3 位までを表彰する。

開催地代表決定戦における 1 位のチームは、「第 15 回春の全国中学生ハンドボール選手権大会 開催地代表」として出場権を得る。

14 そ の 他 (1) 選手の背番号は、No.1～No.15 を使用することが望ましい。

大会申込後の番号の変更は認められない。

(2) ユニフォームは、CP、GK ともに濃淡がはっきりした区別できる 2 着以上を用意すること。

(3) 参加選手、役員は登録証を持参すること。

(4) 競技中の傷害については、応急処置のみとし、その後の責任は負わない。

(5) 松ヤニ、松ヤニスプレーの使用は禁止する。ただし、両面テープの使用は認める。

(6) 今大会は、氷見市小学生冬季大会と合同開催となっています。

(7) インフルエンザに対する対応、対策は各チームで対処してください。

会場には、消毒液のみ設置します。